



2017年(平成29年)1月発行

発行：安藤和寿 〒811-2304 粕屋町仲原 3-8-1
TEL/FAX：092-938-4643 携帯：090-7166-4917
ホームページ：k-ando.net E-mail：ando@k-ando.net



『あんどわ』は、フランス語の『1、2、3』の意味で、
安藤かずひさと共に粕屋町を永遠(とわ)に良い町にするために
一步一步、着実に歩みを進めたいとの思いを込めています。



福岡県粕屋町議会

12月の議会報告

安藤かずひさの一般質問

公民館の新しい有効活用を

因・町長／公民館活動の促進は大変大事である

安藤：2016年夏、気温は38度を超える記録的な猛暑となった。

熱中症対策、期間を設け公民館を開放する、町民にとっての居場所、交流の場、情報発信の場、ラウンジ・サロンとして活用は出来ませんか。

町長：高齢者の方が公民館に集まって暑さ対策をやるということも重要ではないかと思えます。

今後は公民館に事務員を置くという構想をもっております。

自由に公民館が使われて利用できたらと思っています。

原町駅地下掲示板の有効活用を

因・町長／早急な対応をしながら有効利用したい

安藤：美化・掲示広告・掲示物の定義・サポーターの仕組みについて問う。

因・都市政策部長：美化：年2回洗浄の作業提示広告：地方公共団体、公社、公益法人、公共団体などで具体的には商工会、農協、学校など掲示物の定義：イベント広告、絵画の展示などで営利活動以外の掲示

安藤：現地を確認したところ空白、寂しいところがあります。

ジュニアスポーツの部員募集・保育士さんの求人募集・企業広告、求人広告であったり。

企業に関しては、広告収入としていただければ、清掃費などにも充てられると思えますが。

因・都市政策部長：地下歩道が20年経過した状況の中きれいにし検討していきたい。

町長：住民にきっちと広報が出来る、今後は商工会などにもお願いしながら有料の広告物、早急な対応をしながら掲示板を有効に利用したい。

トイレのバリアフリー化洋式化へ

大石・教育委員会次長／随時考慮しながら進めていきたい

安藤：小中学校校舎増設工事、並びに改修が行われていますが、災害時に避難する高齢者や障害者の方が使いやすいように屋内外のトイレについて問う。

教育委員会次長：仲原小の増築工事が完了しますと、全ての小・中学校に多目的トイレが設置されます。

これからも老朽化対策とあわせて、洋式トイレの増設と改修を進めてまいります。

西村・教育長：学校は子供・教員・来客・保護者等々同時に緊急避難場所になっていますので地域の方がお困りの中で来られる。

いろんな児童・生徒の増加に伴いできるだけ楽な姿勢でトイレができるように整備・設置をしたい。